

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人東大和エネルギーの会
 代表者・役職名 氏名 共同代表 石井皆子(井上皆子) / 小倉安洋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「おひさまパワーで非常用電源をゲット！」プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2014年3月任意団体設立。東大和市で初のエネルギーの地産地消、自産自消の団体として市民共同発電所の開設に向け活動。2015年市民共同発電所開設後は、市民一人一人の自主性によって省エネ、創エネ、非常用電源確保に取り組むべく、モニター体験等を通しての普及啓発を持続的に行っている。会員数18名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

昨2018年度は、一般市民の太陽光発電導入を促進するため、小型太陽光発電システムを貸し出し、発電量測定・記録・周辺機器管理など「自分で電気をつくる」体験を支援してきた。今年度は、この事業をさらにステップアップするべく、昨年のブラックアウトを教訓に「災害時の非常用電源確保」という目的を軸とした。この目的にふさわしく蓄電機能を充実させたミニ太陽光発電装置を開発し、モニターを呼びかけていく。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①市民対象の太陽光発電の重要性を認識するセミナー、勉強会等を年2~3回開催。テーマは、地球温暖化への対応としての世界的な再生エネルギーの取り組みの紹介、啓発と共に、日本各地の市民電力団体等最新事例を紹介し、東大和市の住民、事業者、行政の未来のまちづくり構想に寄与する。②モニター募集のため、太陽光発電のシステム使用方法及び非常用電源活用のための説明会を年度前半に実施。③ミニ太陽光発電装置のモニター選定・貸与。三か月のローリングで体験。データ記録・機器の安定的な稼働について課題を抽出し、解決していく実務会合を適宜開催する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1)市民、行政、事業者を対象として、太陽光発電の重要性を認識するための講演会を開催。東大和市の友好都市喜多方市の会津電力取締役会長・佐藤彌右衛門さんを招く。参加者は東大和市長、東大和市環境部長含め延べ40名。2)モニター募集のため、環境市民のつどい、中央公民館まつりなどの企画に出展。参加者延べ6000人。新しいモニター2名応募。3)モニター選定・貸与。従来のモニター3か所に加え、新たに2か所、計5人のモニターが活用開始。モニター宅に随時会員が訪問。活用の実際について聞き取り、助言を行う。3か月に留まらず、年間を通して参加。年度末にモニター宅見学会、報告会を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。(5月総会をメドに実施予定)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後の展望として、頻発する激甚災害に備える非常用電源として必須の「公共施設への非常用電源設置」を、温暖化防止に資する再生エネルギー仕様の機器とすべく、引き続き行政担当部署、首長、議会の理解を得ること。そのための行動としては提言及び、東大和市のCO2排出量の実際と、再生エネルギー導入の実際を調査し、その数値をもって提言することが必要となる。2020年度(令和2年度)の活動計画は上記を見据えて展開する。

7. 参考資料

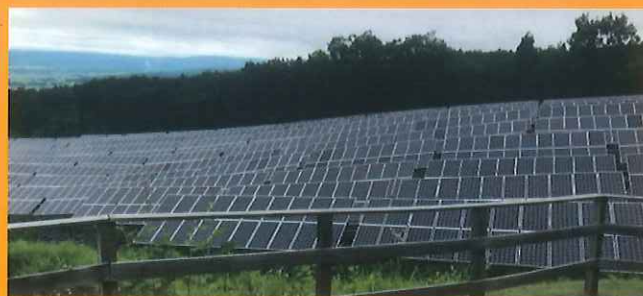
支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

持続可能な社会づくりと地域のエネルギー自立をめざす!

会津の心を聴く

喜多方発



エネルギー革命

講演 会津電力(株)取締役会長
大和川酒造店会長
佐藤彌右衛門さん



あいさつ 東大和市
尾崎保夫市長

東大和市と友好都市の喜多方市で、市民発電所をつくった、大和川酒造店社長の佐藤彌右衛門さんをお招きして、エネルギーの地産地消についてお話を伺います。地球温暖化が危機的な状況に突入する前に、電力を私たちの手に取り戻すアイデアをいただきながら皆さんで考える機会としましょう。

2019年12月7日(土) 参加費 無料

14:45~16:30

場所 東大和市商工会館

3階大会議室



懇親会 カフェレストランPACE 17:00~

※懇親会(会費 2,000円)参加ご希望の方は、準備の都合上、なるべく事前申し込みをお願いいたします。



主催・問い合わせ先 NPO 法人東大和エネルギーの会
電話 042-566-2950 / FAX 042-566-2949
MAIL yamato_2146@yahoo.co.jp
後援: 東大和市 東大和市商工会

エネルギーの会
会員募集中

真如苑多摩地域市民活動公募助成事業

特定非営利活動法人東大和エネルギーの会 2019年度(令和元年度)真如苑助成事業
「おひさまパワーで非常用電源をゲット！」プロジェクト活動実施報告書及び写真

1. 2019.12.7 会津の心を聴く「喜多方発エネルギー革命」案内チラシ 1枚
2. 2019年度 非常用電源ゲット太陽光発電機器モニター宅写真 2枚

- | | |
|---|------|
| 1 | (添付) |
| 2 | (下記) |

